

2023年5月26日 於、文部科学記者会



持ち帰り業務に注目した 「教員勤務実態調査」の分析

報告者: 内田 良(名古屋大学大学院・教授、教育社会学)

E-mail: dada@dadala.net

D-tail: [リスク・レポート]<http://bylines.news.yahoo.co.jp/ryouchida/>

[YouTube 学校カエルちゃんねる] <https://bit.ly/2kjBXAi>

Twitter: @RyoUchida_RIRIS

2022年度教員勤務実態調査の分析(持ち帰り業務の時間数を含む)

1か月あたり	平日								
	所定労働時間外の在校等時間			持ち帰り時間			合計		
	2006	2016	2022	2006	2016	2022	2006	2016	2022
小学校	70:00	70:00	60:00	12:40	9:40	12:20	82:40	79:40	72:40
中学校	75:40	75:40	65:20	7:20	6:40	10:40	83:00	82:20	76:00

2022

82:16

100:56

	土日										1か月合計	
	所定労働時間外の在校等時間			持ち帰り時間			合計					
	2006	2016	2022	2006	2016	2022	2006	2016	2022	2006	2016	2022
小学校	2:24	8:56	4:48	11:28	9:04	4:48	14:00	18:00	9:36	96:40	97:40	82:16
中学校	12:24	26:56	18:24	13:12	9:20	6:32	25:36	36:24	24:56	108:36	118:44	100:56

持ち帰り業務の時間数を含めると、小中いずれにおいても、時間外労働の時間数の平均値が「**過労死ライン**」(1か月の残業時間が**80時間**以上)を超えている。

●持ち帰り業務の時間数を加算した分析

従来の調査ならびに今回の速報値では、「在校等時間」を基礎とした分析。2016から2022年度にかけて、小中ともに持ち帰り業務の時間数が増えたことにも注目し、今後は、持ち帰り業務を組み込んだ分析を展開してほしい。

●都道府県別データの公表

従来の調査ならびに今回の速報値では、都道府県別の時間数は公表されていない。たとえば部活動については自治体間の取組が大きく異なっている可能性もあるので、都道府県別の時間数などを明らかにしてほしい。